

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL101
講義科目名	日本語の語彙と語法
開講年度	2019
開講学期	秋～冬学期
曜日時限	金曜日・3限
必修選択	選択必修
単位数	2単位
担当教員	岡崎智己
使用言語	日本語
教室	センター5号館 5701
授業概要・目標	今期は、日本の高等学校国語科用の教科書として編纂された尚学図書の『現代語』の中から「音韻と表記」「日本語の語彙」「日本語の文法」に関する文章、及びその他の参考文献からの抜粋を読み、日本語とはどういう言語かについて考える。
授業形態	予習＋講義・討議
履修に関わる注意事項	トピック毎に指定された教材（プリント）を予習し、予習ノート（1～7）を提出した上で授業（講義・討議）に出席すること。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 日本語の文法：付属語の役割 (1)</p> <p>第3回 日本語の文法：付属語の役割 (2)</p> <p>第4回 日本語の特徴：和語と漢語 (1)</p> <p>第5回 日本語の特徴：和語と漢語 (2)</p> <p>第6回 日本語における漢語 (1)</p> <p>第7回 日本語における漢語 (2)</p> <p>第8回 日本語における漢語 (3)</p> <p>第9回 日本語における漢語 (4)</p> <p>第10回 外来語</p> <p>第11回 主観的表現・客観的表現 (1)</p> <p>第12回 主観的表現・客観的表現 (2)</p> <p>第13回 小説と日本語 (1)</p> <p>第14回 小説と日本語 (2)</p>

	第 15 回 総括
テキスト	《主教材》大岡信・徳川宗賢・長尾高明・野山嘉正・他（1997） 『現代語』尚学図書
参考書	阿辻哲次（2013）『漢字再入門』岩波書店 石黒 圭（2013）『日本語は「空気」が決める』光文社 石綿敏雄（1985）『日本語のなかの外国語』岩波書店 井出祥子（2006）『わきまへの語用論』大修館書店 影山太郎（2002）『ケジメのない日本語』岩波書店 阪倉篤義（2011）『増補 日本語の語源』平凡社 笹原宏之（2014）『訓読みのはなし』KADOKAWA 鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』岩波書店 鈴木孝夫（1999）『日本語と外国語』岩波書店 中川正之（2005）『漢語からみえる世界と世間』岩波書店 中村 明（1994）『センスある日本語表現のために』中央公論社 西江雅之（2003）『「ことば」の課外授業』洋泉社 堀井令以知（2005）『ことばの由来』岩波書店 水谷修・他編（1995）『日本事情ハンドブック』大修館書店 森田良行（1989）『基礎日本語辞典』角川書店 森田良行（1998）『日本語の発想、日本語の表現』中央公論社 柳父 章（1982）『翻訳語成立事情』岩波書店
成績評価	予習ノート（70%）とレポート（20%）、及び出席（10%）で評価する。 <注> 予習ノート（7回提出）は毎回 10 点満点で採点・評価。遅れて提出された場合は 7 点満点で採点・評価。レポートは内容と表記を 20 満点で採点・評価。締切を過ぎて提出されたレポートは 15%減点。
学習相談	個別に応じる。
その他 （自由記述欄）	必ず予習（指定されたプリント教材の音読と未習語彙の下調べ、書かれている内容の吟味）をきちんとした上で授業に望むこと。